

確約得るまで陳情

患者互助会代表ら上京

水俣病補償問題で政府に対し公一要望している水俣病患者家庭互助会代表らとしての上京は、補償基準の提示を、会の山本会長ら交渉委員一行十五

した。

互助会の上京による陳情は二度目で、山本会長をはじめ交渉委員たちは「今度こそ、はつきりした政府答弁の確約を得るまではすわ

てくれることを期待している。おそくとも二月末ごろまでには補償額の基準を出してもらおうよう強力に要望する」と決意のほどを語っていた。

り込んででも陳情を続ける覚悟だ。互助会としては公害認定してもらった政府に対し、補償問題の早期解決まで積極的に援助協力し

この日駅頭には山田水俣市衛生課長、松田水俣漁協長をはじめ互助会員たちがつめかけ、激励していた。